

カナダ日本語教育振興会2015年度年次大会  
**CAJLE Annual Conference 2015**  
**Conférence annuelle CAJLE 2015**

教師の役割・授業の再考—多様化する日本語学習を背景に—

**Revisiting teacher roles and instruction**

**in view of diversification of Japanese language learning**

Revoir les rôles et l'enseignement des professeurs afin de diversifier l'apprentissage de la langue japonaise

於：Simon Fraser University, Harbour Centre, Vancouver, British Columbia  
2015年8月20・21日

—後援—

Faculty of Arts and Social Sciences, Simon Fraser University

The Japan Foundation

The Canadian Association of Second Language Teachers

Consulate-General of Japan in Vancouver

University of British Columbia

Ritsumeikan University/Ritsumeikan Asia Pacific University

Fraser

Glico Canada

H.I.S. Canada

JAL Canada

NaviTOUR

Nippon Express Canada

Top Career/Fourth Valley Concierge Corporation

Vancouver Shinpo

Wenco International Mining Systems

—書籍販売—

Nihongo Circle

【基調講演】

21世紀の言語学習；拡大する地平、ぼやける境界、新たな可能性  
青木直子氏（大阪大学）

【教師研修】

教室外の学びを考慮した授業  
青木直子氏（大阪大学）

## 【公開討論会】

外国語教育におけるイノベーション—日本語を中心に—

司会： ウェンディ・カー氏（ブリティッシュコロンビア大学）

パネリスト： 青木直子氏（大阪大学）

キャシー・シャノン氏（ニューウェストミンスター高校）

服部圭子氏（近畿大学）

コリーン・リーヘイズ氏（パインツリー高校）

## 【国際交流基金ワークショップ】

授業内における学習者の自律性向上をめざして—IT がもたらす変化と可能性—

齊藤真美（アルバータ州教育省・国際交流基金派遣）

## 【口頭発表】

1. ジャンル理論を用いた初級・中級読み書き指導  
—ポスト構造主義の視点から学習者のアイデンティティを見る—  
川光真二（マサチューセッツ大学アマースト校）
2. 日本語作文授業では、何を目指し、教えるべきなのか  
—クリティカル・リテラシーの観点から—  
羅曉勤（台湾銘傳大学）
3. PL による上級日本語学習者の指導  
—日本語上級教科書を使用した PL による日本語指導の成果と分析と学習者の習得の関係—  
池原あきこ（日本経済大学）
4. 講義の談話におけるトピック・センテンスの聴解について  
渡辺文生（山形大学）
5. 学習者の「聞き方」に潜む不自然さ  
—母語話者による学習者の聞き手行動の評価からわかること—  
半沢千絵美（横浜国立大学）
6. 日韓中母語話者の初対面話者間の会話におけるコミュニケーション・スタイルの対照研究  
—意見述べの場面における相槌の使用を通して—  
許明子（筑波大学）
7. The Difference Between iimashita and itte imashita in Quotative Utterances:  
Mode of Discourse and Pedagogical Implications  
Hironori Nishi (University of Iowa / University of Wisconsin-Madison)
8. Compliment Responses: L2 Learners' Rationales Behind Their Responses  
Naofumi Tatsumi (Columbia University)
9. Interactive Japanese Language Learning Applications with Rich Linguistics Resources and  
NLP (Natural Language Processing) Technologies  
Takako Aikawa (Massachusetts Institute of Technology)・Tetsuharu Takahashi (Fujitsu Laboratories of  
America)

10. New Silent Way と教師の役割  
今井新悟（筑波大学）
11. 雑誌編集から学ぶ日本語日本文化の現在  
川上隆志（専修大学）
12. 映像作品を用いた文学教育における教師の役割に関する一考察  
林淑丹（文藻外語大学）
13. 経済学専攻の留学生の日本語教育の試み—小説を教材に取り入れる場合—  
ミョウチェン（日本経済大学）
14. 多文化コミュニティのキーパーソンに対するコミュニケーション能力養成における  
教育担当者の役割  
松岡洋子（岩手大学）
15. 教師成長の壁を乗り越える—教師教育者育成のための教師成長支援プロジェクト—  
赤井佐和子・白川理恵（ヒューロン大学）
16. 海外における母語話者日本語教師の役割  
—タイの中等教育機関で働いていた母語話者日本語教師の日本語教育観の変容—  
高井かおり（明星大学）
17. 共感の表明—会話を通じて社会的関係を構築できる学習者の育成のために教師ができること—  
川上きよ美（アイオワ大学）
18. 日本語学習者の作文に見られる視点の表現—「視座」に関わる動詞の使用を中心に—  
矢吹ソウ典子（ヨーク大学）
19. ストーリーから理解する情意表現と視点  
安部さやか（ミドルベリー大学）
20. 日本語母語話者による「おいしさを表す表現」  
—スウェーデン語と英語、および韓国語との比較を通して—  
武藤彩加（広島市立大学）
21. 上級日本語学習者の文章読み上げにおけるポーズの実現について  
王伸子（専修大学）
22. 多文化社会における日本語再学習の動機と意味—カナダ成人初級継承語学習者の事例から—  
脊尾泰子（マギル大学）
23. 米国における継承日本語学校教師の研修会—現場の教師の声と研修会の必要性—  
知念聖美（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校）
24. 国際結婚移住女性の文字学習はなぜ進まないのか  
向井留実子（東京大学）・新矢麻紀子（大阪産業大学）・高橋志野（愛媛大学）

25. ビジネス日本語の授業実践による指導内容の探求—学習者のビジネスメールの誤用を通じて—  
尾崎学（開南大学）
26. ロールプレイにおける Can-do を利用した評価表の検証 —学生の発話データをもとに—  
内田さくら（東呉大学）
27. 日本語カリキュラム改訂—リベラルアーツカレッジにおける実践報告—  
山本かすみ（ウィリアムズ大学）
28. Employing Japanese Popular Culture Materials in a Japanese Language Classroom  
- Beyond Textbook Japanese  
Hiromi Muranaka-Vuletich (University of Western Sydney)
29. Elaborated Feedback for Beginning Japanese Language Students:  
The Benefits and Drawbacks of Screencast Delivery  
Nina Langton (University of British Columbia, Okanagan campus)
30. From “Teacher” to “TA”?  
The Workload, Status, and Career Trajectory Implications of Blending Japanese Language Classes  
Alwyn Spies (University of British Columbia, Okanagan campus)  
\*本発表は発表者の都合によりキャンセルとなりました。
31. GPS ゲーム開発環境『ARIS』を利用した教室外日本語学習  
下浦伸治・田代優美子・畑佐一味（パデュー大学）
32. The development of role-playing video games for Japanese language learners  
Akiko Sharp・Nathaniel Tan (University of Calgary)
33. 留学生の日本語運用能力と学習環境に関する研究  
横田隆志（北陸大学）
34. ある台湾人医学部留学生の初年次の記録  
—日本語で学ぶにあたって何に苦労し、どう解決したか—  
大野早苗（順天堂大学）
35. 元学部留学生のライフストーリーからみる進路決定に関わる重要な要因  
久野弓枝（札幌大学）・中谷潤子（大阪産業大学）
36. ロシアとフランスの大学における日本語学習者の動機づけと学習ストラテジー  
副島健作（東北大学）
37. 「理工学系話し言葉コーパス」と日本語教育教材における「～テイク」の調査  
—『基本動詞ハンドブック』の分類をもとに—  
遠藤直子（広島工業大学）・菅谷有子・中村亜美（東京大学）
38. 統語的・語彙的複合動詞の両方に現れる後項動詞の分析  
藤原美保（ウィラメット大学）

39. 接続文の予測に果たす「構文」の役割  
天野みどり（大妻女子大学）
40. 日本語学習者の作文における主題の卓越性—母語話者との比較から—  
下條光明（ニューヨーク州立バッファロー大学）

【ポスター発表】

1. 複言語主義をめざす日本語学習支援者の意識変容  
足立祐子（新潟大学）
2. Students' Beliefs about Homework Assignments and Pop Quizzes in the Japanese Classroom  
Yukie Aida (The University of Texas at Austin)
3. 授業の改善策と学習者の変化—協働学習を取り入れた授業の縦断的事例研究—  
荒井智子（台湾銘伝大学）
4. Learn FL/L3 in Academy: Exploring the Strategies  
-- Japanese as Foreign/Third Language Learners in Canada and China  
Meilan Piao Ehlert (Simon Fraser University) ・ Mei-hua Li (Yanbian University)
5. 学部留学生と日本人学生によるピア・レスポンスの試み  
福岡寿美子（流通科学大学）
6. 「スクラム型学習」による日本語グループスタディの効果  
—初級日本語学習者のための自律的継続学習の支援—  
池田朋子（マギル大学）
7. 卒業後の日本語学習を考える—学習者オートノミーへの一歩—  
久保百世（スタンフォード・ランゲージ・センター）
8. OPI を活用した日本語授業における学習者の意識の変容  
森万里子（湘南工科大学）
9. アカデミック・ライティングにおけるピア・レスポンスと評価の関係  
—2012 年度～2014 年度にかけての実践からコースデザインを再考する—  
中尾桂子（大妻女子大学短期大学部）
10. グローバル時代における韓国内の日本語教員—日本語教育に問いかけるもの—  
中山亜紀子（佐賀大学）
11. Use of a template to give master's thesis writing guidance to international students  
Hironari Nozaki (Aichi University of Education)
12. 「日本人学生は何を大切に考えているか？」  
—協調学習を活用した交換留学生の日本理解の授業—  
大河原尚（大東文化大学）

13. 東北地方の外国人住民向け方言教材の開発  
斎藤敬太（首都大学東京）
14. JSL 児童生徒の自ら学ぶ力を伸ばす日本語教材の試案  
齊藤美穂（神戸大学）
15. 独自の言語学習が起こるコミュニティとしてのクラスと  
そのコミュニティ内での教師の役割  
佐藤純子（ノースウェスタン大学）
16. 日本語文法学習支援システムの開発  
－音声認識と音声合成などの自然言語処理技術を利用した例に－  
施列庭（開南大学）
17. 移民から移民への日本語教育支援の意義  
－在日外国人支援者への半構造化インタビューの質的分析－  
志喜屋カロリーナ（首都大学東京）
18. 日本の母語教育の現状と課題－言語を資産として捉えるために－  
高橋朋子（近畿大学）
19. 日本語教育とポップカルチャー－アニメーション・ソフトウェアを利用した実践を基に－  
竹井尚子（サイモンフレーザー大学）・南志穂（ダグラス・カレッジ）
20. 発音練習用ウェブサイト「eNunciate!」を用いた音声指導  
津田麻美（ブリティッシュコロンビア大学）・米本和弘（東京医科歯科大学）・林寿子（サイ  
モンフレーザー大学）